

What's up, OITA!

世界で活躍する県人会員と留学生OB、大分県関係者の皆さま方に、大分の「今」をお伝えします。

《Vol. 82》2019年12月発行



(由布市)
湯平温泉



(由布市)
庄内なし



(国東市)
たこめし



(国東市)
五辻不動尊

なつかしい我が故郷～大分ふるさと写真館～
【由布市/国東市】

大分県タイプロモーションを開催

県では、11/7～10にタイ王国バンコク都において、尾野副知事を団長として、県内経済団体等の関係者ととも、本県の物産、観光、ものづくり産業を一体的にPRするプロモーションを実施しました。

まず観光PRについては、同時期に開催されたVisit Japan FIT Fair2019に出展しました。

タイから日本への観光客数は昨年113万人となり、5年前の66万人から72%増加しており、訪問先として東京大阪以外の地方都市にも注目が集まっています。

来場者の中には、近いうちに九州を訪問する予定があるお客さんもいたので、本県の温泉やグルメを紹介しました。



大分県ブースの様子



大分県のタベの様子

また、タイ政府関係者、大使館、旅行エージェント、現地バイヤーやマスコミを招聘して「大分県のタベ」を開催しました。会場では、おおいた和牛、養殖ぶり・まぐろ、乾しいたけなどの県産食材を使用した料理を提供し、観光資源を紹介するプレゼンを行いました。会場には、食材、観光、ものづくり産業をPRするブースを設け、関係者と商談なども行いました。

タイ大分県人会の皆様にも出席していただき交流を深めました。

医療介護分野で県内企業のタイ進出の動きがあることから、タイ工業省を訪問し協力を要請するとともに、意見交換を行いました。工業省からは県内企業が有する技術や人材育成について、タイ経済の発展につなげるため、本県と連携したいとの提案がありました。



タイ大分県人会の皆さま

今回のプロモーションを契機として、引き続き関係機関と協力しながら、県内企業の販路開拓やインバウンド誘致などにつながるよう努めていきます。

香港で大分フェア開催中！



呂社長（右）

香港で7店舗を展開する日本食レストラン「別府九州地獄拉麺専門店(通称:別府麺館)」での大分フェアが「大分祭2019 満喫の大分ツアー」をテーマに、11/15から始まりました。「別府麺館大分フェア」は今年で9回目の開催となり、初日のオープニングイベントには、デモにより交通機関が乱れ例年より多少参加者は減ったものの、メディアを中心に香港大分県人会からの3名を含む40名ほどが参加し、非常ににぎやかなオープニングとなりました。

今年の注目食材は、まずはなんとと言ってもおおいた和牛です。ほどよくさしが入ったおおいた和牛は煮てよし、焼いてよし、です。別府麺館では、「おおいた和牛丼」と「おおいた和牛すき焼き」を堪能することができます。さらには、お米で育った豚「米の恵み豚」も豚丼や鍋で楽しむことができますし、定番のとり天やかぼすブリも今回のメニューに入っています。

別府麺館の社長で大分県海外親善大使でもある呂恵光氏からは、「おおいた和牛や米の恵み豚をはじめとする大分の食材は非常によい。自信を持って勧めることができる。是非食べに来て。」とPRしていただきました。フェアは12月19日まで開催されますので、香港にいらっしゃる方は、ぜひご訪問ください！



おおいた和牛試食の様子

(メニューはこちら↓から見ることができます)

http://www.beppu.com.hk/wp-content/uploads/2016/02/BM_Oita-Menu_201910_4_OP-01.jpg

(株)STEQQI(ステキ)が、ニッポンものづくりフィルムアワードグランプリを受賞！

タイ出身の元留学生のカムガード・ワチャレイントーン君(愛称:ビル、2018年APU卒)、ベトナム出身の元留学生、宮嶋トウフォンさん(2006年APU卒)、津々見佳苗さんからなる動画制作などを行う、(株)STEQQIが、第1回ニッポンものづくりフィルムアワードグランプリを受賞しました。このアワードは、日本の「ものづくり」、「手仕事」にフォーカスしたドキュメンタリー映像作品を表彰するもので、今回のテーマは「明日の“後継者”をつくる。」でした。

(株)STEQQIさんは日田の小鹿田焼をテーマとして制作し、その飾らないありのままの捉え方などが評価され約100件の応募の中から、グランプリ受賞に至りました。同社は大分県が設置した留学生の起業を支援するおおいた留学生ビジネスセンター(スパークル)に2018年4月の創業と同時に入居しており、県としても今後より一層支援していきたいと思えます。(株)STEQQIのみなさん、グランプリ受賞、本当におめでとうございます。

(グランプリ受賞作品はこちら↓から見るできます。)

<https://nippon-teshigoto.jp/award2019/results>



右から順に、津々見さん、ビルさん、広瀬知事、宮嶋さん、高橋さん(おおいた留学生ビジネスセンター)

李 婷(り てい) 研修員レポート -国東半島-



10/15、私は初めてバスツアーに参加しました。国東市の萱嶋酒造、涛音寮と伊美別宮社流鏑馬を見学しました。萱嶋酒造では、工場の施設を案内して説明して下さいました。西の関という清酒も試飲し、美味しかったです。西の関のプレゼントも頂きました。

それから、涛音寮ギャラリーという140年前の建物を見学しました。創作屏風と掛け軸の修復作業も担当しているようです。古くて着られない着物を再利用し、屏風にされてびっくりしました。きれいで素晴らしいアイデアだと思います。

また、伊美別宮社で流鏑馬神事を見学しました。流鏑馬は走っている馬上からの的に向けて矢を射るという日本の伝統的な儀式です。昭和56年に大分県の選択無形民俗文化財に選定されています。私は的射、紙吹雪、扇子で砂をすくう所作などの披露を見ました。とても面白かったです。

最後は「志まる」という店で晩御飯を食べました。豊富でとても美味しかったです。外国人にとって、バスツアーは安く、自分で路線の手配も無く、日本の奥の魅力も味わえるから、楽でいい選択ではないでしょうか？



李 婷研修員をめぐろん海外サポーターに任命しました

今年5月に来日し県などで研修を行っていた、湖北省黄石市からの研修生 李婷さんが、6ヶ月間の研修を終えて11/20に帰国しました。

李さんは、県、ツーリズムおおいた、旅行会社などで行政や観光についての研修を受けながら、プライベートでは堪能な日本語を生かし県内のみならず日本各地を訪問し、様々な体験をしました。

本誌にも、毎月県内各地で体験したレポートを日本語で寄稿していただきました。帰国に際し、「めぐろん海外サポーター」に任命されましたので、今後湖北省と大分県の架け橋としてご活躍されることを期待しています！



尾野副知事値との記念撮影



観光博でのPR

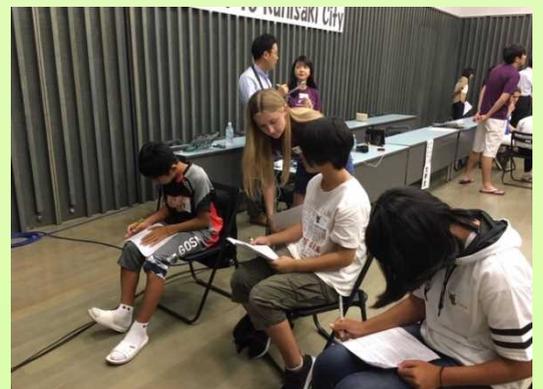
市町村からのお知らせ【国東市】

『国東から世界へ！』 ハーバード大学生との交流会

ハーバード大学生との交流は、国東市内の中学校・高校に通う生徒を対象に、一般社団法人Summer in JAPAN（非営利団体／大分市）の協力で毎年8月に開催しています（今年はスタンフォード大学生も参加しました）。今回で5年目を迎え、参加者の中には3回目の生徒もおり、関心の高さが伺えます。また、交流会の準備として、事前学習会も別途行っていますので、初心者でも安心して参加できます。

主な交流内容は、身体を動かしながらの英語ゲームや自分の夢を英語で伝える英作文の練習・発表等です。最初は控え気味だった生徒たちも、大学生の明るく気さくな対応に、徐々に打ち解け、最後は積極的に話しかける一面も見受けられました。

この交流会は、今後の英語教育改革を見据え、英語に対する学習意欲を高めると共に、世界最高峰の大学の学生たちと触れ合うことにより、自分の視野を広げる絶好の機会です。この交流をきっかけに、英語に興味を持ち、グローバルに活躍する人になることを期待しています。





Pick Up! 大分の「今」

県内の出来事（11月）

News

【11月】秋真っ盛り！各地で竹灯り祭りが開催

山々が紅葉で色づきはじめるこの時期に、県内各地で竹灯りの祭りが催されました。2・3日の「第23回うすき竹宵（たけよい）」（臼杵市）と15～17日の「竹楽（ちくらく）」（竹田市）では約2万個の竹を使った照明が夜の城下町を照らしました。9・10日の「第40回日田天領まつり」（日田市）では江戸時代の大名行列の再現もありました。このほか11月の週末は、食の祭典やイルミネーションなどに集まった人々で県内各地が賑いました。

News

【11月9日,23日】どこでも別府温泉「幻想の湯」

別府にいらなくても別府温泉に入れる。それを実現したのがエアハウス型の浴場施設「幻想の湯」です。空気で膨らませた大きなテント内に浴槽や脱衣所を備え、運んだ別府の温泉を給湯。これは別府の一般社団法人ビービズ・リンクの「別府おんせんおみや」事業の一環です。9日に別府市で行われた初の入浴体験会と23日の東京での大分PRイベントでは多くの人を楽しませました。災害対応も想定しており、今後被災地で活用される可能性もあります。

News

【11月17日（日）】走り抜ける！車いすマラソン

大分市で開催される車いすマラソンも今年で39回目となりました。18ヵ国210人が障害の程度に応じて3クラスに分かれて競いました。マラソンT34/53/54女子でマニユエラ・シャー選手（34歳・スイス）が自身の世界記録を更新。男子ではマルセル・フグ選手（33歳・スイス）が2年連続8度目の優勝を飾りました。同大会は来年に迫る東京パラリンピックとの関わりも深く、大分市はスイスの事前キャンプ地に決定しています。県はその他に五輪とパラリンピックを合わせて7件のキャンプ地に決まっています。

※国際政策課にて新聞等を元に作成

From our Reporters

県の国際交流員が、旬なOITA情報をお届けします。



秋のおおいた地産地消キャンペーンに合わせて、県庁別館9階の食堂で「学校給食レストラン」が開催されました。県内各地の学校給食の献立を参考にしている、今回は豊後高田市や姫島村、竹田市などの献立がありました。



金 眞雅
(Kim Jina)

私が食べた日の献立は秋の味、サツマイモが入っている秋味シチュー、コッペパン、牛乳、スコッチエッグ、フルーツ白玉でした。日本の給食は初めてでしたが、韓国ではパンが主食の献立はなかったし、牛乳は朝提供されるものだったので新鮮でした。初めて食べるスコッチエッグもなんだか懐かしい味がして美味しかったです。個人的にはコッペパンにジャムがあれば良かったと思いますが、ペロリと完食しました。



ちなみに韓国では小学校から高校まで給食を食べます。一人暮らしで毎日の献立に悩んでいる今となって、給食のありがたさに気づきました。

10月13日に開催された杵築市の観月祭に行ってきました。出店で買ったケバブを食べながら、行灯で照らされた杵築市の城下町を散歩しました。



セーラ・バックレイ
(Sarah Backley)

行灯には、好きな果物や満月を描いた人もいれば、地球温暖化の心配などのより深刻なトピックについて描いた人もいました。満月は感情を最も高める力を持っていると言われていています。これで行灯の絵やメッセージにより深く感動したのかもしれませんが、一つ一つの市民が手書きで描いた素敵な行灯を真剣に観ながら、街中の石畳を1時間以上かけて回りました。



先月、母と一緒に湯平温泉に行ってきました。遅く着いたため、山に隠れた日の残光しか見られませんでした。



シエ シンラン
(Xie Xin Lan)

夕焼けと紅葉の姿を鮮明に撮れなくて少し残念でしたが、日没の頃に旅館の近くの花合野川沿いを歩くと、溪流のせせらぎの響く空に連なる赤提灯が薄暗く照らし、柔らかく神秘的な雰囲気をもたらし、とても癒されました。旅館で夕食をとってから貸し切り風呂に入り、湯けむりに霞んだ星空を眺め、温泉県の味力をたっぷり楽しめました。ちなみに、夏に花合野川沿いに蛍が出ているらしくて、機会があればまた訪れたいと思います。



11月15-17日に竹田竹灯籠・竹楽祭がありました。竹田に着いた時はまだ明るかったですが、竹灯籠は点火されました。メイン会場となる十六羅漢、瀧廉太郎記念館、西の宮神社、廣瀬神社などが竹楽八景と言われています。竹灯籠は一定の比率によって組み合わせられた三本組を基本としていますが、広場や段階などを利用された収まりはきれいです。



ピョウ センテイ
(Miao Zhanting)

その中で一番感心したのは十六羅漢と廣瀬神社です。前者は夜の紅葉と静寂・幽玄な竹灯籠の光と合わせてまるで水墨画のような世界です。後者は何度も曲がって上には鳥居があって、まるで天に届くように見えますが、屈折な過程があっても、精一杯頑張っていけば目標を達成するはずだということを思い出さずにいられません。

白杵竹宵にしても、日田の千年明かりにしても、竹田の竹楽にしても、どれも大分人が伝統文化を伝えていくことに頑張っている姿です。これは私たちが注目すべき、習うべきところだと思います。



県内の最新の観光情報はこちらから
ご覧ください！

(ツーリズムおおいたHP)

<https://www.visit-oita.jp/>

話題提供のお願い！



県人会の活動(懇親会等)や留学生OBの近況など、世界中の大分県関係者に紹介したい話題をお寄せください！(様式は任意です)

【記事提供/お問い合わせ先】国際政策課 担当:藤原【Mail】 a10140@pref.oita.lg.jp